

宮城県の特別支援教育

—「いま」を学び、「これから」を考える—

発達障害のある子どもたちの「親の会」情報交換会

【ご案内】スタートから6年経過した特別支援教育。学校の取り組みに信頼と期待が広がる一方で、当初から課題を抱えています。

この情報交換会では、宮城県教育庁の特別支援教育推進室に講師派遣をお願いし、宮城県の特別支援教育の現状と今後の課題を学びます。そして各「親の会」と参加者から、学校での配慮や支援の現状、今後への要望・意見を発言していただき、特別支援教育のあり方を一緒に考えます。

発達支援ひろがりネットは、特別支援教育に関わる、保護者を対象にしたアンケート調査を準備しています。この支援情報交換会で呼びかけ、十二月末までに回答をお寄せいただき、結果を県教育委員会に伝える計画です。

「宮城県特別支援教育将来構想審議会」が十年ぶりにつくられ、来年十月の答申をめざしています。この支援情報交換会とアンケート調査は、当事者と保護者の願いを浮かび上げられ、議論に役立てていただくものです。



日時：9月29日（日）13時開会（16時に終了予定）

会場：仙台市・青年文化センター 2階 第2研修室

（地下鉄・旭ヶ丘駅で下車）

講演：「宮城県の特別支援教育の現状と今後の課題」

講師＝相澤 一夫氏

（宮城県教育委員会特別支援教育推進室 教育指導班班長）

交流：・「親の会」からの発言

特別支援教育で体験した配慮と支援、今後への要望

・参加者からの発言と意見交換

・阿部芳久顧問（東北福祉大学教授）のまとめ

・発達支援ひろがりネットからアンケートのお願い

※入場無料。資料代を200円いただきます。

【発達支援ひろがりネット】

宮城県内の発達障害児の親の会とNPOの計八団体のネットワークです。二〇〇七年六月に正式発足。秋に支援情報交換会、四月に「発達障害啓発週間」にとりくんでいます。日本発達障害ネットワーク（JDDネット）に、エリア会員（地方組織）として参加しています。

◎発達支援ひろがりネットのブログ

<http://blog.canpan.info/haxtutatusien/>

◎お問い合わせはメールで。

hirogare@hotmail.co.jp

裏面に、この「親の会」情報交換会に向けて行っている「聞き取り」用紙があります。ご協力ください。

保護者としての体験と、特別支援教育の充実を願う意見

—特別支援教育に関わる「親の会」情報交換会のための聞き取り用紙—

2013年8月作成

発達支援ひろがりネット

【お願い】発達支援ひろがりネットは、宮城県の発達障害に関わる「親の会」やNPOで構成しているネットワークです。9月29日（日）13時より、仙台市・青年文化センターで、「宮城県の特別支援教育—『いま』を学び、『これから』を考える」をテーマに、第7回支援情報交換会を開催します。この「聞き取り」は、支援情報交換会で紹介するために行うもので、提出されたご要望・ご意見は、その後に宮城県教育委員会にも伝えます。対象は保護者です。

設問1では、就学相談および入学後をふりかえって記入してください。担任やコーディネーターの教師等から受けた支援、校内委員会の活動を感じた機会、「個別の支援計画」を見せられたこと、サポートファイル等の情報提供を受けたことなど、学校と関係機関が行っている努力や支援で、体験したことを書き出して下さい。関係者への感謝があれば、ご記入下さい。

設問2では、願っている適切な理解と支援が受けられなかった体験や、現状の不満な点をお書きください。改善を求めるご要望・ご意見、ご提案があれば、お書き下さい。

「親の会」に所属している人は、それぞれの会に提出してください。

「親の会」に参加していない人は、発達支援ひろがりネットあてに、FAX (022-268-4042 「発達支援ひろがりネットあて」と明記して下さい) またはメール (hirogare@hotmail.co.jp) で送信してください。FAXで回答する方は、電話・FAX番号をご記入ください。

スペースが足りない方は、用紙を追加してください。ご協力をお願いいたします。

【1】、体験をふりかえって—学校の理解と配慮・支援を書き出してみましよう。

【2】、特別支援教育に感じている不満、より充実を願う要望・意見

<所属している会>

電話・FAX